

Japanese B – Standard level – Paper 1
Japonais B – Niveau moyen – Épreuve 1
Japonés B – Nivel medio – Prueba 1

Monday 9 November 2015 (afternoon)
Lundi 9 novembre 2015 (après-midi)
Lunes 9 de noviembre de 2015 (tarde)

1 h 30 m

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for paper 1.
- Answer the questions in the question and answer booklet provided.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

Cuaderno de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

問題 A

おもしろい かんきょう授業

多くの学校は「地球教室」という教材を使って、授業をしています。その授業は、とても人気があります。今年も「地球教室」を無料で学校に配ります。教材の目的は「自分で考えて、自分で行動する」ことです。

教科書 2 さつ

新しいエネルギーは、どうやって作るの？
森はどんな働きをするの？
水はどうして大切なの？



食べ物ゲーム

グループで楽しいゲームをしながら、食べ物について考えます。



特大写真ポスター

いろいろな写真を見ながら、かんきょうについて勉強します。



この教材を手に入れたい学校は、学校の名前、住所、電話番号、学校の生徒の人数、学校のメールアドレスを もうしこみ書に書いてください。もうしこみ書はFAX、または、ホームページで うけつけます。

FAX 03 - 5211 - 7285
<http://www.asahi.com/chikyu/>

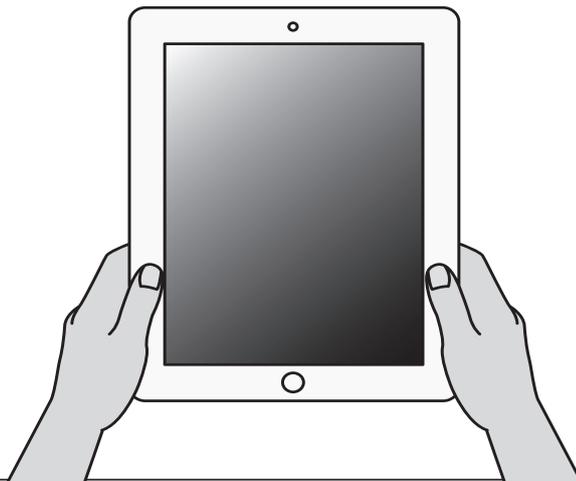
しめきりは 6 月 20 日です。

さんこう
参考 : www.kodomoeco.jp (2015)

問題 B

町は もえていた

- ① 20年前の1995年に神戸で大きな地震がありました。神戸市は、長田区でスマートフォンやタブレットを使った新しいサービスを始めました。アプリを使って、その場所の1995年の地震のときの写真を見ることができるサービスです。このアプリの名前は「震災アーカイブ・マップ」で、1995年の写真が15,000ぐらい入っています。記憶を未来に つなげるのが目的です。
- ② レポーターの森本君がタブレットを持って、69才の東さんと町を歩きました。タブレットに、地震のとき、町が火につつまれて真っ赤にもえる写真が映し出されると、森本君は「あっ」と おどろきました。ここはJR新長田駅の近くです。今はきれいな歩道の両側に食料品や洋服の店がならんでいます。でも、地震のとき、このあたりは木の建物が多く、地震で火が広がりました。
- ③ 「私はここに住んでいた。」と東さんが次に案内したのは、「まるは市場」の近くです。今はマンションがありますが、タブレットを見ると、地震でたおれた建物などの写真が映し出されました。地震が起きたのは午前5時46分で、東さんは家で寝ていました。「最初は何が起きたのか よく分からなかったが、家族で にげた。町がもえる様子を見ながら、何もできなかった。」と話していました。
- ④ 東さんは森本君に「家族や友だちを大切にしてください。何かあるとき、力になるのは人と人との つながりです。」と話していました。



参考：2014年1月17日づけ朝日小学生新聞

問題 C

かぶきはファンタジー 日本の美

市川右近さんは、かぶきの役者やくしゃです。小学生のとき、初めてかぶきをえんじて、かぶきが大好きになりました。今は、多くの人に かぶきに親しんでもらおうと、がんばっています。「子どもたちには、かぶきはファンタジーに近いだよと伝えたい」と話します。市川さんにインタビューしました。

Q: [-例-]

A: 8才のときに かぶきの舞台ぶたいに立つ機会きかいがありました。そのとき、僕は かぶきというよりも、ファンタジーを感じました。すぐに かぶきが大好きになりました。

Q: [-25-]

A: 中学1年生のときに、一人で大阪おおさかから東京に かぶきの勉強に行きました。一人だったのでさびしいときもありました。それから、こえ変わりでかぶきをえんじることができない時期じきもあって、大変でした。

Q: [-26-]

A: 高校3年生のときに、ヨーロッパの4か国に行きました。当時はイヤホンでの説明はありませんでしたが、海外のお客さんが大きな拍手はくしゅをしました。「かぶきはすごいなあ、これを一生やりたいなあ」と、そのとき思いました。

Q: [-27-]

A: かぶきはむずかしくて分からない、というイメージがあるかもしれません。でも、一度見ると考えかたが変わると思います。かぶきの役者の顔の色から、和楽器わがっきの音楽など、かぶきにはいろいろな楽しさがあります。

Q: [-28-]

A: 日本人として、伝統でんとう的な日本の美にふれることは大切だと思います。



問題 D

4 色のご飯で秋の景色^{けしき}

① 「秋のおべんとう」は すてきです。おべんとうの ふたを開けると、秋の景色^{けしき}が目の前に広がります。

② このおべんとうを作った人は、前田亜沙美^{あさみ}さんです。前田さんは、キャラクターおべんとうアーティストとして日本中で広く知られています。前田さんは、秋田県に三人の むすめと いっしょに住んでいます。「子どもとの時間を大切にしたい」「子どもにかわいくて、体にいい、おいしい おべんとうをたくさん食べさせてあげたい」という思いから、楽しい おべんとうを作り始めました。「秋のおべんとう」について、前田さんに聞いてみました。



③ 10 『秋のおべんとう』は、川の流れを4色のご飯を使って作ってみました。例えば、ご飯のきれいな みどりの色は、お茶の葉^はを使ってつけました。かわいい りすは、電子レンジで やわらかくした いもから できています。目や鼻^{はな}は黒い のりを切って、作りました。ご飯の上にある きれいな葉っぱ^はは、にんじんを切って、作ってあります。そして、最後にデザートに うさぎの耳に切ったりんごも忘れないで入れました。」



④ 前田さんは、自分の おべんとうのアイデアをまとめて、本も出しています。ぜひ、見てみてください。

さんこう
参考 : www.recipe-blog.jp (2015)